

勝田第二中学校学校区の行動目標と具体的な取組

1 気持ちを込めて、進んであいさつしよう

・各小学校では、児童会委員会を中心に、年間を通した継続的なあいさつ運動が行われています。特に、さわやかマナーアップ運動では、委員会の児童の他、教職員やPTAの方々も加わり、実施しました。また、4月から毎朝、校門や昇降口で校長、教頭等が登校する児童を出迎え、一人一人と笑顔であいさつを交わしています。

・第二中学校では、学年生徒会主催やPTA学年委員会主催のあいさつ運動を実施しました。第3学年生徒会では「高校生活への第一歩のためにあいさつを心がける3年生へ」をキャッチフレーズに、あいさつ運動に取り組みました。



あいさつ運動



縦割り班活動

2 思いやりと気配りをもって生活しよう

・小学校毎に、それぞれの実態に合わせた活動に取り組んでいます。他者理解として異学年交流の機会を設定し、定期的な縦割り班遊びや行事的な縦割り班活動などを実施しました。人権教育では、道徳・学活の時間を活用し、話し合い活動や人権標語の作成を行いました。さらに、人権集会を実施し、他者への思いやりや相手の立場に立った気持ちを考える機会となりました。

・第二中学校では、「K2フェスタ」を実施しました。おやじの会の協力のもと、今年度はオンラインによる発表会を行いました。



「いじめをなくそう集会」の様子

3 いつでも、どこでも交通ルールを守ろう

・各学校とも、地域ボランティア（自治会・自警団など）やPTAによる「登下校の見守り活動」や地域パトロール等の「交通安全指導」をはじめ、教職員による定期的な巡視など、日頃から児童生徒の様子を見守り、安心・安全な登下校に努めています。

・例年、各学校で交通安全教室を実施しており、警察署の方を講師として招いたり、交通公園に出かけたりして、安心・安全な登下校の仕方や自転車の乗り方などを学び、交通事故の防止に役立っています。



立哨の様子



交通安全教室

4 笑顔あふれる学校にしよう

・各校とも、日々の学校生活に加え、様々な学校行事を通して、充実感や達成感を味わい、自然に笑顔になるような体験ができました。運動会や体育祭、持久走大会など、コロナ禍の中でも精一杯取り組み、頑張る姿に、温かい声援や拍手が送られ、笑顔があふれる場面がたくさん見られました。

・第二中学校では、新型コロナウイルス感染症対策を施して合唱祭を実施しました。練習を重ねて創り上げられた合唱は、美しく力強く体育館に響き渡り、聴く人を笑顔にしました。



「虫キング大会」の様子

